

インフルエンザの流行が始まりました

～手洗いと咳エチケットを心がけましょう～

横浜市では、感染症法に基づき感染症発生動向調査を実施しています。2017/2018 シーズンの平成 29 年第 46 週（11 月 13 日～11 月 19 日）の全市集計において、流行開始の日安となる基準（1 定点医療機関※1 当り 1 週間の患者報告数 1.00 人）を超え、「1.04」となりましたのでお知らせします。

横浜市では例年と同時期に流行期に入りました。市民の皆さま一人ひとりが早めに予防策を取りましょう。

※1 定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関（市内 153 か所）

<経過>

本市のインフルエンザ発生状況は、第 46 週の迅速検査キットの結果では A 型 86.6%、B 型 13.4%で、A 型が多く検出されています。全国の流行状況では A 型、B 型のいずれも検出されています。

年・週	期 間	患者報告数（人）（※2）	備考
平成 29 年第 43 週	10 月 23 日～ 10 月 29 日	0.27	
第 44 週	10 月 30 日～ 11 月 5 日	0.25	
第 45 週	11 月 6 日～ 11 月 12 日	0.43	
第 46 週	11 月 13 日～ 11 月 19 日	1.04	市内流行期

（※2 患者報告数は医療機関からの追加報告により、数値が変動します。）

別添参考資料 : 横浜市インフルエンザ流行情報 1 号

横浜市衛生研究所 HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>

インフルエンザ予防策

● かからないようにしましょう

- ・帰宅したら流水と石けんで 20 秒以上かけて丁寧な手洗いをしましょう。
洗い残しが多い指の間、手のしわ、爪、手首も洗うようにしましょう。
- ・加湿器などを使って、室内を適切な湿度 (50～60%)に保ちましょう。

● うつさないようにしましょう

- ・咳やくしゃみがでるときは、マスクをしましょう。
- ・かかったかなと思ったら、必ずマスクを着用して早めに医療機関を受診しましょう。
- ・インフルエンザにかかってしまったら、学校や仕事は休みましょう。
（学校は発症した後 5 日を経過しかつ解熱後 2 日を経過するまで出席停止となります。）
- ・熱が下がっても人にうつす可能性があります。2 日程度は自宅療養をしましょう。

● 重症化のサインを見逃さないようにしましょう

こどもや高齢者、妊婦、持病のある方は症状が重くなりやすいため、呼びかけに答えない、呼吸が早く息苦しい、胸の痛みが続く、症状が長引き悪化する場合はすぐに受診しましょう。

【参考】厚生労働省 HP 「平成 29 年度 今冬のインフルエンザ総合対策について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

お問合せ先

健康福祉局健康安全課長

木村 博和 電話 045-671-2442

衛生研究所感染症・疫学情報課長 野崎 直彦 電話 045-370-9279

横浜市インフルエンザ流行情報 1号

横浜市衛生研究所 / 横浜市健康福祉局健康安全課

《トピックス》

横浜市内がインフルエンザの流行期に入りました

【概況】

2017年第46週(11月13日～19日)の定点^{※1}あたりの患者報告数は、横浜市全体で**1.04**と、流行開始の目安となる1.00を上回りました。例年、インフルエンザは12月頃から3月頃まで流行します。

第46週では、10歳未満の報告が約7割を占めています。

学級閉鎖等の発生は、例年より早く第37週(9月11日～17日)で報告され、現在までに合計11件報告されています(主に小学校)。

第46週の迅速診断キットの結果は**A型86.6%**、**B型13.4%**と、A型が多く検出されています。全国のウイルス検出状況^{※2}では、AH3型、AH1pdm型、B型(山形系統)、B型(ビクトリア系統)のいずれも検出されています。

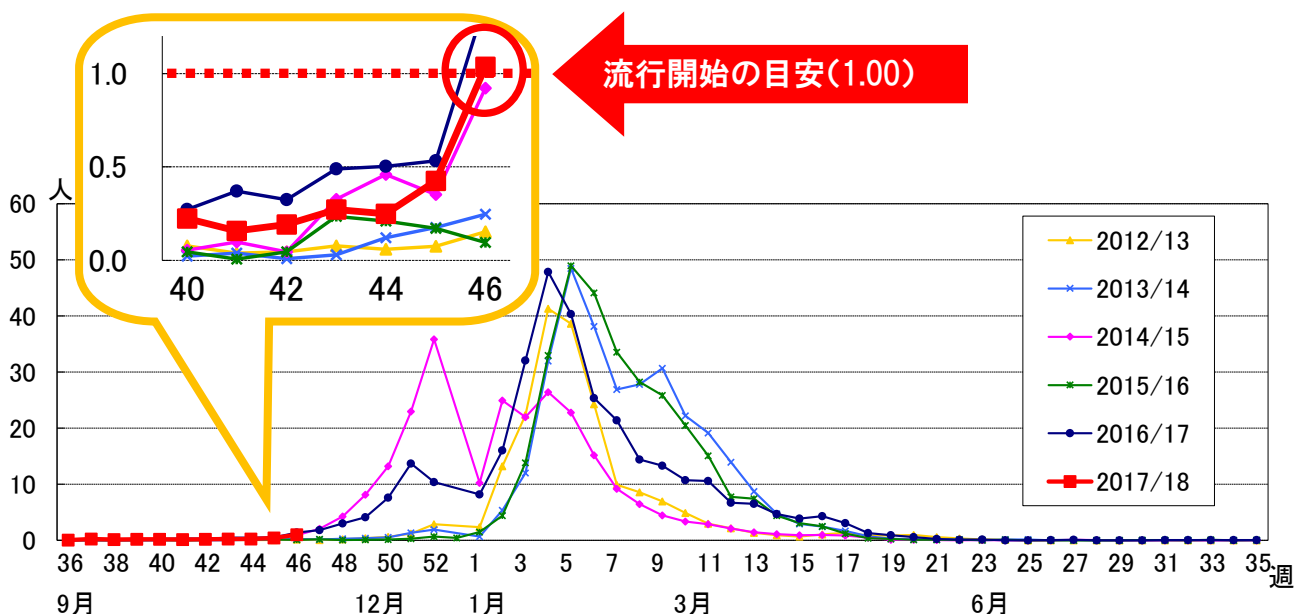
今後、インフルエンザの本格的な流行が予想されるため、予防や早期受診などの対策^{※3}が重要です。

※1 定点とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内153か所)のことで、そこから報告された患者数の平均値が定点あたりの患者報告数です。

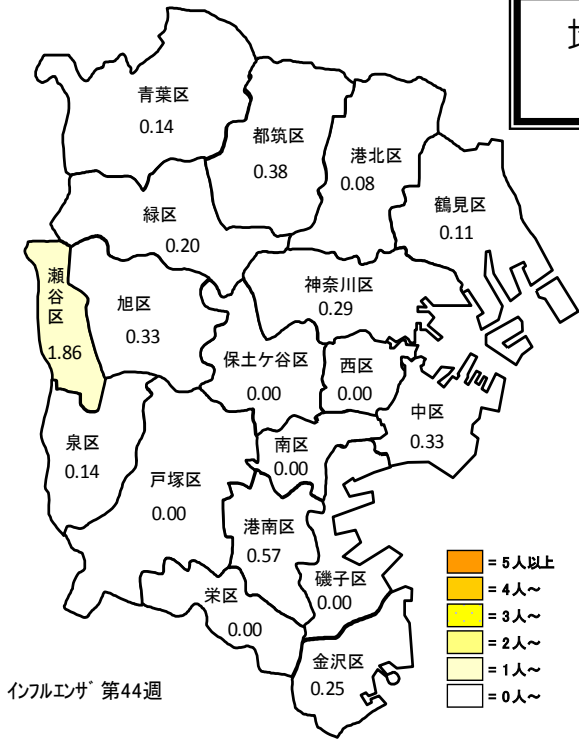
※2 [インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

※3 [市民向けインフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

○市内流行状況:市全体の定点あたりの患者報告数は、第46週で1.04と、第44週の0.25、第45週の0.43から増加し、流行開始の目安である1.00を上回りました。



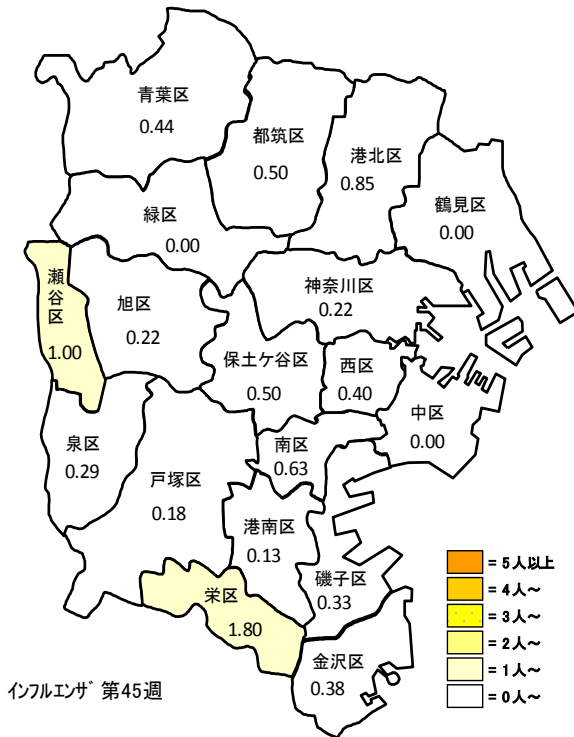
地図で表した直近3週間の区別流行状況
(塗り分けの数字は定点あたり報告数)



《参考》

昨シーズン (2016/17年) の流行推移

- ・ 流行の開始【定点あたり 1.00 超】
第46週 (11月14日~20日)
- ・ 流行注意報発令【定点あたり 10.00 超】
第51週 (12月19日~25日)
- ・ 流行警報発令【定点あたり 30.00 超】
第3週 (1月16日~22日)
- ・ 流行警報解除【定点あたり 10.00 未満】
第12週 (3月20日~26日)



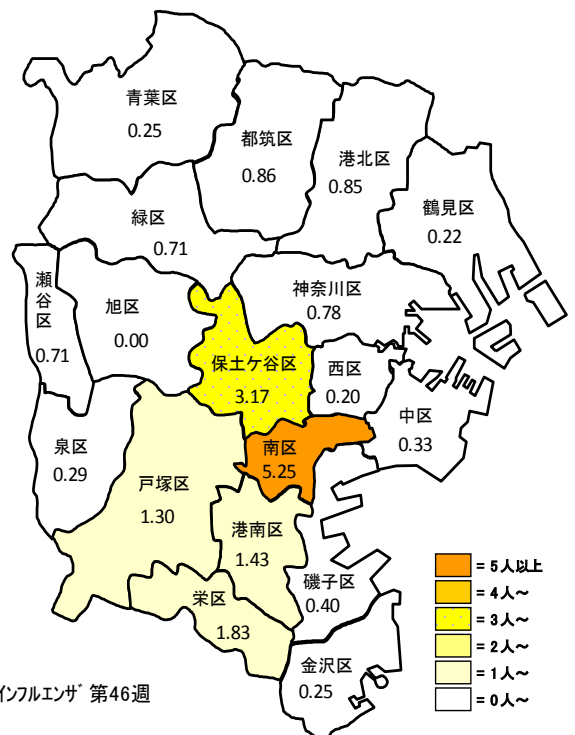
※参考リンク

近隣自治体の流行状況

- [神奈川県](#)
- [川崎市](#)
- [東京都](#)

全国の流行状況

- [国立感染症研究所](#)



【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(370)9279
横浜市健康福祉局健康安全課 TEL 045(671)2442